

新年のご挨拶

新春を迎え、読者の皆様におかれましては益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。また平素のご厚情に深謝いたします。

『モダンメディア』は医学、公衆衛生に関する学術情報誌として1955年8月に創刊して以来、臨床検査に関わる話題や最新情報をさまざまな視点からご提供させていただいて参りました。

昨年4月より新たな編集委員に加わって頂き、読者の皆様にご満足いただけるようコンテンツの整理を行い、「話題の感染症(動物の感染症)」、「社会における感染症」、「医学教育の今!」など新しい切り口を加え、最新情報のご提供に努めております。また、数年ぶりにウェブサイトでの読者アンケートも行い、編集委員会での誌面作りの参考にさせていただいております。今後、更に内容の充実を図って参りたいと存じますので、引き続きご愛読賜りますようお願い申し上げます。



栄研化学株式会社

代表執行役社長

納 富 継 宣

昨年、世界的に政情不安定な状況が続き、臨床検査薬業界においては医療費抑制策と円安や原油高による物流及び原材料調達などのコスト上昇により経営環境は厳しさを増し、コスト競争力の強化と積極的な海外展開を求められています。

弊社は“Saving Your Health”「ヘルスケアを通じて世界の人々の健康を守ります。」の経営理念のもと、「がん」、「感染症」、「ヘルスケア」の3つの分野の技術開発や製品化を強化しております。また、「2025年問題」、「2040年問題」など予想される超高齢化社会、人手不足、在宅看護や地域医療のニーズ増大を踏まえて、場所を選ばない検査や無意識の健康管理など、デジタルバイオマーカーによる健康予測サービスや生体情報取得デバイスのタイムリーな開発と、製品の更なる品質向上・安定供給に注力して参ります。今後とも皆様にご活用いただけるモノづくりを進めていく所存です。

さて、本誌恒例の新春放談2025年は、さまざまな場面、学会等で注目され、社会的な関心や話題性が特に高い「ワンヘルス・アプローチ～AMRの現状と今後の課題」をテーマに取り上げさせていただきます。

ワンヘルス推進に向けてヒト、動物、環境における薬剤耐性菌の検出状況と抗菌薬適正使用などの耐性菌の蔓延を抑制するために、国や各施設などで実施されている取り組みやそれぞれの分野の専門家が連携して取り組むべき今後の課題と対策について、語り手を東 剛志先生(大阪医科薬科大学 大学院薬学研究科 講師)、臼井 優先生(酪農学園大学 獣医学群 獣医学類 教授)、具 芳明先生(東京科学大学 感染症センター: TCIDEA、同大学大学院医歯学総合研究科 統合臨床感染症学分野 教授)、西 圭史先生(日本大学薬学部 薬剤師教育センター センター長、教授) (五十音順)に、聞き手を本誌編集委員の堀野哲也先生(東京慈恵会医科大学 感染制御科 教授)、壁谷英則先生(日本大学 生物資源科学部 獣医学科 教授)にご担当いただき、幅広くご討論していただいております。是非ご一読ください。

本年も、より一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年1月吉日